

題もあった。

【0010】本発明は以上の問題を解決すべくなされたものであり、本発明の目的は、簡易な操作で電子メール機能を利用することができると共に、電子メール装置における情報の登録状況（誰から情報が登録されているか等）を容易に確認することができ、従ってすぐれた利便性を有する、電子メール装置付き構内自動交換システムを提供することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明は、以上の目的を達成するために、複数の端末装置と、該複数の端末装置を収容する構内自動交換機と、該構内自動交換機に付設された情報の登録及び読出しの機能を有する電子メール装置とから成る、電子メール装置付き構内自動交換システムにおいて、前記電子メール装置に、自端末装置以外の端末装置に対応する複数の受信メールボックスを、端末装置の各々に対応させて設定し、前記端末装置に、自端末装置以外の端末装置に対応したキーと、自端末装置の前記受信メールボックスに対応する複数の表示部とを備え、前記構内自動交換機に、前記キーの押下により、メッセージ送信元端末装置からのメッセージ登録を認識する手段と、押下された前記キーに対応するメッセージ送信先端末装置の受信メールボックスであって、前記メッセージ送信元端末装置に対応する受信メールボックスに対し、前記メッセージ送信元端末装置からのメッセージを保存するよう前記電子メール装置を制御する手段と、メッセージが受信メールボックスに保存されたことを認識すると、該受信メールボックスに対応する前記表示部に保存表示を行なうよう制御する手段と、を備えた構成としている。

【0012】かかる構成により、情報の登録者は、簡単なキー操作で所望の相手のメールボックスにメッセージを登録できるようになり、一方、情報の受信側では、一目で、誰（どの端末装置）から情報が登録されているか等のメッセージ登録状況を容易に認識することができ、メール装置を利用する際の操作性が顕著に向上する。

【0013】また、本発明は、以上の目的を達成するために、さらに、前記端末装置に、自端末装置以外の端末装置に対応したメッセージ読出し用キーを備え、前記構内自動交換機に、前記メッセージ読出し用キーの押下により、該メッセージ読出し用キーを押下したメッセージ読出し端末装置を認識する手段と、前記メッセージ読出し用キーに対応する前記受信メールボックスに保存されているメッセージを、前記メッセージ読出し端末装置に送出するよう前記電子メール装置を制御する手段とを備えた構成としている。

【0014】かかる構成により、情報の受信側では、一目で誰から情報が登録されているかを認識することができるので、余分な操作を必要とすることなく、必要な情報の取り出しを瞬時に行なうことができる。従って、メ

ール装置を介した情報の伝達が容易にしかも確実に行なわれるようになる。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施の形態を図面を参照し詳細に説明する。

1. 全体構成

図1は、本発明の実施の形態のシステムの全体の概略構成を示す中継方式図である。

【0016】図1において、破線で囲んだブロック100は構内自動交換機、破線のブロック200は電子メール装置、破線のブロック300-1~300-3の各々は、構内自動交換機100に接続された端末である（それらの端末を以下の説明では概括的に引用符号300で表わす）。

1- (1) 構内自動交換機 (PBX)

構内自動交換機 (PBX) 100は、通話路ユニット102を含んでおり、この通話路ユニット102には、バス104を介して中央処理装置 (CC) 106が接続されている。中央処理装置106は、PBX100の全体を制御するばかりでなく、メール装置200や各端末300に対しても影響力を及ぼすものであり、それについては後に詳述する。

【0017】バス104には更に、種々の制御データや処理状態、それに処理プログラム等を記憶する記憶装置 (MM) 108が接続されていると共に、メンテナンスパネル (MP) として構成した外部入力装置110が、入出力装置 (IOC) 112を介して接続されている。記憶装置108は、このPBX100自体の動作に関するデータばかりでなく、メール装置200や各端末300に関するデータも格納するものであり、これについても後に詳述する。

【0018】PBX100は更に、内線接続のための複数のライン回路114、中継台制御装置116、局線トランク118、メール・インターフェース回路 (MIF) 120、三者通話等を行なう際に使用する会議トランク (CFT) 122等を備えており、これらはいずれも通話路ユニット102に接続されている。

【0019】PBX100は局線トランク118を介して公衆網404に接続されており、図中に406で模式的に図示してあるのは公衆網404に接続された外部の電話機である。またこのPBX100には、中継台制御装置116を介して中継台402が接続されている。

1- (2) 電子メール装置

電子メール装置（以下、メール装置）200は、この実施の形態のシステムにおいてはいわゆる音声メール装置 (VMS) が用いられている。

【0020】メール装置200は情報蓄積ユニット202とコントローラ204とから構成されており、情報蓄積ユニット202はPBX100のライン回路114のうちの1つに接続されており、また、コントローラ20